

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年5月12日

【評価実施概要】

事業所番号	4773200029
法人名	社会福祉法人 立命会
事業所名	指定認知症対応型共同生活介護事業所 しらゆり
所在地	〒901-1511 南城市知念字久手堅275-3 (電 話) 098-949-1455

評価機関名	社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会
所在地	沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
訪問調査日	平成20年4月25日(金)

【情報提供票より】(H20年2月25日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 13 年 8 月 25 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 6人, 非常勤 0.5人, 常勤換算 5.7人

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,900 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000円		

(4)利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	0 名	要介護2 3 名	
要介護3	6 名	要介護4 0 名	
要介護5	0 名	要支援2 0 名	
年齢	平均 83 歳	最低 71 歳	最高 97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	沖縄メディカル病院、与那原中央病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、斎場御嶽と海を遠望できる四季に恵まれた環境にあり、毎朝、ホーム周辺の散歩が行われている。同時にパワーリハビリと毎日の入浴、学習療法等も取り入れられ、健康でその人らしい暮らしが維持されている。また、一人ひとりを尊重し、幸せを感じて暮らして頂けるよう入居者と向き合った介護がなされている。そこには基本理念である「受容」が日常的に実践されていることが伺える。地域密着型サービス後、地域出身の入居者もしいに増え、家族からも信頼され良好な関係を築いている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、提言のあったグループホーム入り口をわかりやすくするため、案内の看板を取り付けている。また、玄関にあった柵を取り払い開放的に改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で自己評価に取り組み、会議を持って再確認をした。その際、できていると思っていた救急法などの見直しがなされ、早速計画実施を行うなど、改善に活かされている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、これまで三回程実施され、ホームの状況報告などを行った。今後は、定期的開催し、グループホームをサポートして頂けるよう、良き協力者としてメンバーを活用していく取り組みに期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の意見がケアの向上につながることを伝え、オリエンテーションや、面会時、その都度の報告や連絡などを通じて意見を吸い上げている。その場合、家族から意見や疑問等、言いやすい雰囲気づくりに努力しており、迅速に対応している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	これまで、敬老会やハッピー、ゴルフ等の行事に出かけたりしている。しかし、地域とのつきあいの面ではまだできていないとの自覚があり、最近散歩の途中、新しく増えた近隣の住人への挨拶を交わしたり、喫茶店に立ち寄ったり、地元との交流を行っている。これをきっかけに、より一層地域に出かけ、関係を築いていかれることを期待したい。

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	創立時の理念「受容」を大切にし、入居者一人一人と真摯に向き合っている。地域密着型サービスにより、地元の入居者が増えたことで、地域の様子が身近になってきている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	傾聴に徹して受容するよう努力している。管理者と職員はその大変さを理解し合い、毎月の検討会議や必要時に、課題として共に話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会やハーリー、ゴルフ等への参加は行っているが、立地条件の兼ね合いもあって、地域住民との付き合いは比較的少ない。	○	最近は散歩の途中、新しい近隣の住人への挨拶を交わしたり、喫茶店に立ち寄ったり、声かけをしている。今後、入居者、家族の地元における行事等への参加など地域に出かけ、関係を築いていかれることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価に取り組み、会議を持ち再確認をした。その中で、出来ていると思っていた救急法などが習得されていないことが確認され、早速計画、実施する等、改善に活かされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、これまで三回ぐらい実施され、状況報告などを行った。地域包括支援センター、役場、民生委員、家族代表、入居者代表が参加している。	○	二ヶ月に一回、実施し、グループホームをサポートする協カメンバーとして活用することを期待したい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	これまで、サービスの質の向上等について、市との話し合いや取り組みは行っていない。	○	市町村職員の研修受け入れや行事等への参加、情報収集など、日頃より意見交換できる関係を築いていかれるよう、今後の働きかけを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、その都度報告しており、急変時や病院受診など経過報告を密に行っている。また、日常の金銭管理については、日誌等に記録し、レシートで報告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見がケアの向上につながることを伝え、オリエンテーションや面会時、その都度の連絡の際を通して意見を吸い上げている。意見や疑問等にすぐ対応し、言いやすい雰囲気づくりに努力している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで職員の入れ替えは殆ど無く、なじみの職員によるケアで、入居者も安心して暮らしている。そのため職員は、マンネリ防止や、初心に戻るよう自覚している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける体制が出来ており、研修内容の報告等、日々のケアに活かされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議やワーカー会議に参加し、情報交換等の機会を持ち、ケアの参考にしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者へ体験入居をして頂いたり、実態調査の結果、在宅生活を継続できる可能性のある場合は、家族、本人との密な関係を大切にしながら、在宅での生活を継続できる方向で支援し、その後、入居していただけるようきめ細かいケアを工夫している。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	朝の体操、歌、世間話、食事、入浴、外出など、一人一人の気持ちによりそい過ごす中に、その人らしさが表現され、その思いを共感できるひと時ひと時を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の思いがけないひとこと、しぐさの中に、その人の思いや意向をくみ取り、気づきをもたらせてることが多い。そのことは、スタッフに与えられた一番の課題として捉え、常に気配りを意識している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフによるアセスメント作成、実態調査、家族の面会時の意向や希望などと共に介護計画を作り上げている。毎月一回ケース検討会議を持ち、見直しを細やかに行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	不眠時のケアや、おむつ使用から綿パンツへの移行など、きめ細かく見直しを行っている。家族や医療機関との連携なども密に行い、その結果、気持ちよく過ごされていることにやりがいを感じており、入居者の尊厳に対する思いへの共有がある。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体のデイサービスを活用してパワーリハビリを受けたり、知人と話したり、身体を動かすことにより排泄や食事など身体機能の低下を予防し、表情の変化等の効果がみられる。運動会や納涼祭など家族も共に楽しんでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人が入居前から利用していた医療機関へ状況報告書を持参させ、家族対応で通院している。必要に応じて職員が通院に同行したり、医師より直接指示を仰ぐこともある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	体制ができていないため、看取りはしていない。入院によってレベルが落ちていく様を見ると、何とか重度化や看取りに対応していきたいと思っている。	○	管理者は母体特養ホームでの経験などから、関心を持っている。体制づくりを含め、今後の検討課題として貰いたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に言葉づかいに注意を払い、丁寧な対応を心がけている。日誌や記録などはロッカーへ保管している。記録を食堂のあるリビングでとるため、書類を人目に触れないようカーテン等で工夫するよう配慮したい。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼夜逆転の方のペースに合わせ、見守りをしている。毎日の入浴の際も本人の状態に合わせて行っている。夜間はパジャマ、起床時の着替えなどの他、部屋での休息や手伝いをしたくない時の気持ちの尊重も大事にしている。その時々気持ちを優先した支援を継続している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食堂は、台所での調理を目にすることができ、自然と洗い物や片付けなどが手伝えるようになっている。毎週月曜日にはウッドデッキでバイキングを行い、又、二ヶ月に一度遠出を行い、好みのメニューの夕食を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に順番は決めずにその日の状態に合わせて、毎日時間帯を決めずに入浴を実施している。入浴が感染症の予防や、コミュニケーションの場になっている。反面、職員の負担が大きい、スタッフ全員の力量が勝れていることによって継続されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	何もしたくない時、何かしたい時、入居者の状況に応じて食事の盛りつけ、掃除、モップかけ、洗濯たたみ、踊りや三味線など職員と共に行っている。以前、農業をしていた方に作業を試みたが続かず、下膳の方を自ら手伝うようになった。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	雨の日以外、毎朝散歩に出かけている。毎週一回のドライブと二ヶ月に一回の食事、年二回馴染みのコースを決めて一対一で出かけている。昔の記憶をよみがえらせる言葉を発せられたり、職員にとってもお互いに楽しみとなっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に夜間以外は鍵をかけない。居室の高窓と、玄関と食堂にセンサーが設置されて居り、音色で区別されている。職員が一緒に一周りしたり、激しいときにはソファで防いだり工夫している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、年二回実施している。夜間を想定して消防や地元の自警団、職員の連絡網がある。避難場所の確保など、常に意識していくことの大切さと緊張感を継続されている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量を確認し、チェック表に記録している。尿路感染症をおこしやすい入居者は、1000ミリリットル以上の水分を摂るよう、個別対応で水量の測定を行っている。栄養については、母体の管理栄養士が朝昼夕の献立のカロリー計算を表示している。誤えんのある方への対応も配慮している。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の近くに浴室があり、プライバシーを保ちつつ出入りも静かに察知できる。事務所は居室と廊下をはさんで、お互い近くで顔をあわせられる。居室や廊下の壁には絵画がかかり、部屋には野の花が生けられている。食堂からウッドデッキにすぐ出られ、洗濯物の干し場もつながって居り、家庭的な雰囲気である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	表札は、入居者が見やすい位置にある。居室は、昼間の必要な方や、身体の状態の変化に合わせてベッドを大きめに取り替えたり、一人一人の生活に合わせた工夫がなされている。		